

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	花のふれあいスポット推進事業		
事業担当	土木部 道路管理課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごころ〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：自治会等各種団体、個人】		
	目的・目標		事業の概要
市民の道路愛護意識の向上が図られているとともに、潤いのある道路空間が形成されています。		道路愛護意識の向上と潤いのある道路空間を形成するため、市民が道路残地等に植栽する草花を提供します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	草花等提供量			単位	本
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3,700	4,000	4,100		
	実績	4,280	5,305	5,663		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	市民による緑化協力箇所数			単位	箇所
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	9	10	11		
	実績	9	10	11		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
宝町商店会、八幡地区町内福祉村運営協議会、平塚農業高校、相模小学校、西海岸商店街、日向岡地域ボランティア、高浜台自治会、八重咲町自治会、老松町自治会、扇の松海岸通りの会に加え、新たに根坂間自治会の参加もあり、緑化が図られました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	市民との協働による道路沿いの緑化であり、道路愛護意識の向上が図られる上で必要な事業です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	市民との協働による道路沿いの緑化により、道路愛護意識の向上や、市民満足度が増す等の有効性がある事業です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 □ 受益者負担、補助額 ■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	市民との協働による道路沿いの緑化により、道路愛護意識の向上が図られる、妥当性のある事業です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	市民との協働により、維持管理費の削減等、効率化も図られる事業です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 潤いのある道路空間の形成や道路愛護意識の向上を図るため、主旨に賛同していただける方に参加・活動してもらえるように、地域住民の理解と協力を得る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		草花等の提供	草花等の提供	草花等の提供
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	310	355	400
事業費 (A)		310	355	400
執行率 (%)		98.41	100.00	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 潤いのある道路空間の形成と道路愛護意識の向上を図るため、団体等へ草花を提供します。
課長コメント 地域住民の理解と協力により、道路愛護意識の向上と潤いのある道路空間の形成のため、今後も継続して実施していく必要があります。